

阿久和川沿いのまほろば・ 大山道を歩きながら 名刹・古刹を訪ねる。

約6.5km 約10,000歩

旭ガイドボランティアの会



②新橋神明社

新橋の神明社は、むかし神明谷戸(しんめいやと)といわれたこの地域の鎮守さまで、嘉元(かげん)年間(1303~6)の創建。初めは国常立神(くにとこだちのかみ)一柱をお祀りしていたが、伊勢神宮を参拝または遥拝する人々がが多くなったため、村人と合議の上、正和年間(1312~15)天照大神を合祀した。

③観音禅寺

元和元年(1615)3月、阿久和村領主であった旗本・安藤治右衛門正珍(まさとし)(まさよし)が、先祖の冥福を祈るために創建したと云われている。

当寺は、観音寺を創建した阿久和村の領主安藤家代々の菩提寺である。本尊の聖観世音菩薩立像は、像高86cm、楠の一本造りで、行基の作と云う。両腕から先や両足などは、後世に補造されたものである。

こみいった模様はなく、ずんぐりとした素朴な彫り方で、平安時代後期の地方仏師の手によって造られたものと考えられる。よく往時の面影を伝えている仏像で、33年に1度御開帳を行う秘仏となっている。

観音寺は鎌倉郡観音33札所の23番札所です。

④中丸家長屋門(現当主で18代目)

柏尾道路の新橋町交差点の正面にある「中丸家長屋門」は、横浜市認定歴史的建造物。建造は明治17~18年頃。

長屋門とは、出入口の両脇に倉や部屋がある大きな門のことで、このような2階建は横浜市でも唯一です。

門をに入って左側に貴重な資料の掲示があります。なお、中に入れるのはこれらの掲示の見えるところまでです。

⑦向導寺

浄土宗の向導寺は、新編相模国風土記稿によると、徹底山浄蓮院と号します。向導寺は用山上人[天正10(1582)年寂]が開山となり創建した。

浄土宗京知恩院末寺、本尊弥陀を安置。

向導寺には、明治22年中川村が誕生したとき、翌年1月に役場の庁舎が新築されるまで仮庁舎が置かれました。墓地には寺子屋師匠吉田雄山の筆子塚があります。

⑧[永明(ようめい)寺別院]

大山道を歩く人が必ず足を止めるのが永明寺別院門前にある「大山道道標」です。

この道標は不動橋の南西の袂にあったものを移転したものです。

(正面) (不動明王像) 庚申供養 大山道
(左面) 享保十乙巳十一月吉日(1725)
(右面) 右 ほしのやみち

⑧岡津山永明寺(こうしんざん・ようめいじ)と大山道道標

永明寺は、本尊の台座に書かれている文字や寺の古文書によれば、天文11年(1542)「岡津郷領主太田越前の守入道宗真」の創立とされています。入道宗真は寺伝によれば太田道灌の孫とされ、祖父道灌の菩提を供養するために、道灌を開創の祖として勧請しています。曹洞宗大本山総持寺の孫末寺で、本尊として聖観世音菩薩木立像を安置している。

[大山信仰と大山講]

大山は雨乞いに靈験のある山として雨降山(あふりやま)とも呼ばれ、昔から農民たちの山岳信仰の対象とされてきた。

そこにある大山阿夫利神社は、農民から五穀豊穡や雨乞いの神として信仰され、日照りや飢饉が続くと、多くの農民達が参詣に訪れた。

⑨中川地区センター

- ・唐破風笠付角柱型六手合掌青面金剛塔
- ・駒型六手合掌青面金剛塔+三猿 正徳2(1712)年
- ・唐破風笠付角柱型文字「庚申塔」 萬延元(1860)年
- ・唐破風笠付角柱型阿弥陀+三猿 寛文11(1671)年

本コースの見どころ

- ①往時の古道と新しい街並みを訪ねる。
- ②静かな巡礼の道を歩く。
- ③広がる台地から富士を眺める。